

日刊
JP新東京

No.552

2011年
1月1日(土)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

新春支部長あいさつ

組織の拡大なくして 労働条件の改善なし

組合員の皆様、明けまして御目出とう御座います。年末繁忙大変お疲れ様でした。常日頃より支部活動への御協力に感謝申し上げます。

昨年は、歴史的な猛暑のなか、郵便事業会社の命運をにぎる「宅

配便事業統合」に全精力を傾注しましたが、「誰も責任をとらない」、「上意下達の文化」、「鍋倉社長発言」等々、郵便事業会社の体質を露呈し、大変な損失、信頼を失いました。年末繁忙期には、失敗を再演させない取組みを各方面で行い、物流部門の

信頼回復と反転攻勢への足がかりの『芽』を出す努力が行われました。今後、検証と総括が労使双方に求められています。

同時期に取り組まれた参院選において、JP労組「ならば奨二」必勝の取組

みが、組合員、家族、OBの皆様、OBの皆様の御協力で実施されました。

民主党の逆風が吹くなかで当選を勝ち取ることが出来ました。組合員、家族の皆様改めて感謝申し上げます。選挙を通して組織の弱点も明らかになり、今後その克服への取組みの組織的な指導性、日常的な政治活動の教育活動、取組みが必要であり、支部としても考えていく課題の一つです。



本年4月には、統一地方選挙が闘われます。組織内議員として、新島恒雄（江東区）、中里省三（江戸川区）、末木亮（新宿区）、3名の当選をはかるべく取り組みが進められています。先の参院選の総括のうえ、万全の体制が組めるよう支部として最大限の努力を行いたいと思います。

また、「郵政改革関連法案」成立の行方も心配されます。JP労組中央本部は、組織内議員などを通して政治対応を行っていきます。上部機関の指導のもと、早期の成立がなされるよう支部として努力していきたいと思えます。

本年も様々な課題が私達を取り巻いています。多くの組合員の皆様から意見を聴き、支部活動に生かし、活性化を図ってい

きたいと思えます。

最後に、東京地本は3万名組織を昨年12月に達成しました。12月1日

付け正社員登用者66名の完全結集もはかり、新東京支部も3万名組織化の一翼を担ったと自負しております。改めて多くの組合加入者に対し御礼申しあげます。

職場過半数組織まであと一歩のところまで来ています。未加入の皆様へ組合加入を訴えます。組合員の皆様へは更なる組織拡大への御協力を要請いたします。労働条件の改善、組合員の幸福追求の為、「拡大なくして組織なし」を合言葉に取り組みを進めた



いと思えます。

新東京支部執行部一丸となり、闘いの最先頭に立つ覚悟を固めているところですが、みんなで協力して組織を拡大してより良い職場、よりよい新東京支部にしていきましょう。重ねて、みなさまの支援ご協力をお願いして、新年のあいさつにかえたいと思えます。

組合員およびご家族のみなさまのご多幸を念じつつ、支部執行委員会を代表してあいさつとさせていただきます。

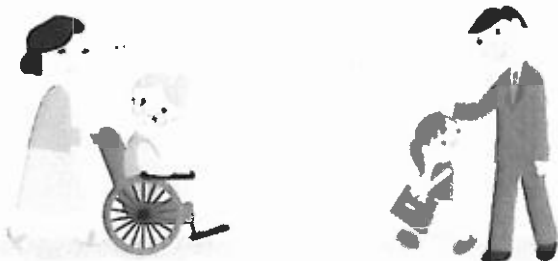
新東京支部 支部長 下山 薫

2011新春レク ボウリング大会 1月30日（日）
お台場パレットタウン4階 10時半～受付

今年も

ユースネットワーク社会貢献活動 書損ハガキを集めています

できることから
はじめよう
身近なボランティア



ユースネットワークは、社会貢献活動の一環として、書損ハガキを集約し、全国大会会場所在地の社会福祉協議会が希望する福祉機材 (ex. 車椅子) などを寄贈する取り組みを行っています。

ユースネットワーク組合員が中心となって取り組みますが、全組合員のご協力をよろしくお願いいたします。

**〈 これまでの実績 〉 2009~2010年
190,774枚 (8,106,243円)**

取組期間

2月末日まで

集約種別

葉書を基本に、書損交換できるもの全てを対象とします！

提出先

各分会役員又は執行委員まで

皆様のご協力よろしくお願いいたします！！

日 刊 新東京	No. 5 5 4	2011年1月7日(金)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

平成22年度経営効率化勸奨退職 (高齢勸奨退職)の実施について

(1) 実施日

日本郵政	平成23年3月31日	
日本郵便	平成23年3月31日	次年度は8月末を予定
郵便局会社	管理者のみ	3月末を予定
ゆうちょ銀行	管理者のみ	
かんぽ生命	平成23年3月31日	

(2) 周知・勸奨期間 (一般社員)

郵便事業 平成23年1月5日～1月25日 (21日間)

* 会社別に異なりますので、詳しくは支部・分会役員まで

(3) 選考対象者と優遇措置

対象者は、退職日の年齢が満50歳以上の社員。
退職にともなう優遇措置は、従前と同じ取り扱い。
勸奨退職調整額は年齢群団別に下記のとおり支給。

56歳以上	3500円
53歳以上56歳未満	3800円
50歳以上53歳未満	4300円

昨年十一月、長野県・戸倉上山田温泉の帰りに見学してきました。

第2次世界大戦の末期、軍部が本土決戦最後の拠点として極秘のうちに、当時の大日本帝国の国家中枢機能(大本営、政府各省など)を松代に移すという

下の朝鮮(大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国)から強制連行してきた者を含む約6000人。

延べ61万0600人が動員され、その工事はダイナマイトで発破して、崩した石屑をトロッコなどを使って人海戦術で運び出すという方法で行われた。

どを要求して射殺されたり犠牲者は300人から1000人と言われている。しかし関係資料の焼却などにより、犠牲者氏名はほとんど不明。

この地下壕は、延長10キロメートル余にも及び、この地下壕の中に屋敷をつくり、普通に生活ができるものを作りかけて

松代象山大本営地下壕跡を知っていますか？

いたそうです。戦争中に逃げ場もなく食料も無かった国

計画のもとに構築したものです。途中で終戦になり全行程75%で中止になる。当時の金で約2億円の巨費が使われる。工事には、学徒・学童までも動員され、地下壕掘削など中心的役割を果たしたのは、植民地

厳しい監督下で昼夜兼行の12時間二交替の強制労働をされ、食料も乏しく、発破や落盤の事故、栄養失調で死亡したり、逃亡した者も少なくない。

さらに自殺したり待遇改善な

民生活とかけ離れた世界がそこに見えました。見学できるのは、西条口から約500mの区間。入場料は無料。午前9時〜午後4時まで。ぜひ、見学をして戦争の悲惨さを肌で感じてほしい。(投稿)

日 刊	JP新東京	No.555	2011年1月11日(火)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

新春 支部ボウリング大会 参加者募集中！！

年末始における業務繁忙お疲れ様でした。

さて、昨年を引き続き第3回目となるボウリング大会を開催いたしますので、沢山の組合員やご家族のご参加をお待ちしております。

1. 開催日：平成23年1月30日(日)

2. 時間：11：00ボウリングスタート
12：30(予定)表彰式スタート
※10：30より受付開始
時間厳守にてお願いします。

3. 場所：東京レジャーランポウル
パレットタウン店(お台場)
※ゆりかもめ「青海駅」下車徒歩1分
りんかい線「東京テレポート駅」下車徒歩5分

4. 会費：大人 1,000円(参加者全員対象)
子供 500円(小学生まで対象)
※子供は投球される方のみ

5. 参加申込：1月21日(金)までに支部執行委員または分会役員へお申し出ください。

日 刊 JP 新東京	No.556	2011年 1月12日 (水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

窓口分会

正社員登用者のつづやき

JP 労組は2010春季生活闘争の要求として、非正規社員から正社員への登用要件の緩和と登用増を求めたのに対し、昨年度を上回る（グループ全体で8438人、うち事業会社6503人）正社員を登用させる事ができました。12月1日付の登用ということもあり、合格した皆さんは、何かと慌ただしさの中での業務遂行は骨身に染みたことと思います。

正社員になって一ヶ月が過ぎ、正月気分も抜けた今、正社員となって感じていること、感じてしまったことを3名の窓口分会の組合員さんにつづやいてもらうことにしました。

*集荷担当 K さん

正社員に登用されて1ヶ月が経ちました。幸いなことに、私の担務はゆうメイト時代と変わらず、仕事の上での苦労が増えたという感じはありません。これから、新たな業務知識を身につけ、先輩方に頑張って追いつこうと思っています。勤務時間が1時間延びたので、生活リズムが、まだそれに慣れていないというところ です。

今回の正社員登用者は、受験者に対して2割台に留まりました。合格の発表も11月半ばと、ずいぶん時間がかかりました。会社は、国会の動向を見ていたのかな、と思えてなりません。時の情勢によって、刻々と動きが変わりますので、次回、次々回に受験しようと思われている方は、アンテナを高くして、組合から、同僚から、そしてインターネット等からさまざまな情報を入手してください。

文章を書く力を付けておくことも大切だと思います。読み手を引き付けるような文章が書けるようにしておくといいと思います。かく言う私も、今、この原稿を書くのに大変苦勞していますが・
・
・

郵便事業は、経営的には大変苦しい時期に来ています。職場の仲間とこの苦難を乗り越えていければいいなと思っています。

*** 窓口担当 S さん**

新入社員なので覚えなければならない事が多く、さらに12月の忙しい時期だったので、1日1日があっという間に過ぎていきました。なので、無理に覚えようとせずに、まずは1日の流れをつかむ事にしました。少しでも早く一人前になり、責任を持って仕事に取り組んでいきたいと思えます。

最後に、これから正社員登用試験を受けるゆうメイトさんたちへ。試験は、周りのペースに関係なく、自分のペースを崩さずに取り組んで下さい。

*** 窓口担当 T さん**

○正社員になって思うこと

正社員に登用され1ヶ月。今まで深夜勤務の経験しかない私の場合、一から覚える業務が沢山あり、自分の無知・不甲斐なさを痛感している毎日です。仕事内容もさることながら、今までとの一番の違いは責任の重さです。窓口課なので直接お客様と接することも多く、自分のミスがダイレクトに相手に迷惑をかけてしまう、そのプレッシャーは今まで無かったことです。この先ちゃんとやっていけるのか？まだしばらくは光の見えない状態が続きそうですが、今はただただ勉強の日々です。

○正社員を目指す方々へ

現在の勤務状況や配属先により様々なケースがあると思いますが、確実に今まで以上に求められる事が多くなり、責任も重くなります。一方で仕事に集中できる環境にいられる事も実感できると思えます。

以上、12月1日付で正社員に登用された方々のつぶやきでした。

第3回新春支部ボウリング大会のお知らせ

2011年1月30日（日）

東京レジャーランド パレットタウン店にて

11時スタート（受付10:30～）

お問い合わせ、参加申し込みは、支部・分会役員まで

日 ア新東京 刊	No.558	2011年1月14日(金)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
	TEL 03-5606-6784 内線 4353	

書留郵便物等の支店内における授受の

IT化の試行について

現在、老朽化している旧追跡センター・追跡端末機などの旧端末機を更改し、平成23年10月から内務用携帯端末機による運用を開始する予定としています。

※ なお、試行に使用する端末機は、現行の複数ある専用端末機（ポケットリーダー、内務用携帯端末機（旧）、送達証作成機及び不在システム）を内務用携帯端末機に一本化し、これに併せて外務用携帯端末機・内務事務PC・局サーバとしています。

今回の試行は追跡端末機の更改運用の前段として、以下のとおり内務用携帯端末機の操作性や本格実施に向けた課題等対応策を検証するというものです。

1 対象郵便物

- (1) 書留とする郵便物及びゆうメール
- (2) 簡易書留とする郵便物及びゆうメール
- (3) 書留とする国際通常郵便物
- (4) 保険付きとする国際通常料金受取人払いとする郵便物

ただし、現金等の収納を要するものは、試行の対象外とする

2 実施支店

- (1) 東京支社（1支店）本郷支店
- (2) 南関東支社（7支店）

川崎港、川崎、高津、登戸、宮前、中原及び麻生支店

3 試行内容

支店内における書留郵便物等の授受を携帯端末機で記録し、現在、手作業で行っている授受簿の取りまとめ作業を省力化する。試行範囲は、配達支店における書留郵便物等の取扱いのうち、到着処理から集配営業課への交付及び交付後の配達担当者間の移動までとする。

(1) 郵便課(特殊担当者)の取扱い

ア 内務用携帯端末機により、配達区及び班単位の書留郵便物等交付票を出力し、配達担当者へ交付する。

イ 書留・料金収納郵便物等授受簿は、電子授受簿として管理する。

ウ 電子授受簿を、内務事務PCから出力する。

(2) 集配営業課(配達担当者)の取扱い

ア 外務用携帯端末機により、特殊担当者から受領した書留郵便物等交付票を入力する。

イ 区の移動等担当者間の授受がある場合、書留等郵便物区間移動票を出力する。

4 実施時期

平成23年1月24日(月)以降準備出来次第～平成23年9月30日(金)。

なお、開始日については、本社、支社及び支店で調整の上、決定する。

以上

BUMBリーグ参加決定

開催日：平成23年1月23日(日) 14時～16時

開催場所：〒136-0081

東京都江東区夢の島 2-1-3

BumB [東京スポーツ文化館]

フットサルが大好きな選手・マネージャー随時募集中!!

※ 詳しくは支部執行委員もしくは分会役員まで

日 JP新東京 刊	No.559	2011年1月17日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

日本郵政齋藤社長記者会見に基づく マスコミ報道について

12月31日の新聞報道、1月7日の齋藤社長記者会見については衆知のこと
 と思います。JP労組本部が2011年1月11日付けで以下の通り見解を出し
 ていますので掲載します。

中央総合情報第96号

日本郵政齋藤社長記者会見に基づくマスコミ報道について

1月8日(土)、一般商業新聞及び共同通信等により「日本郵政は、
 傘下の郵便事業会社が2010年9月中間決算で大幅な赤字を計上した
 ことを受け、郵便局会社を含めたグループ会社社員の給与やボーナスの
 削減を検討していることを明らかにした」との報道がされました。

この記事は、1月7日(金)15時から開催された日本郵政齋藤社長
 の記者会見において、郵政三事業の厳しい現状を述べ、郵政事業の健全
 化を図り立て直すためにも郵政改革関連法案の早期成立が必要との認識
 を示した後の「郵便事業の財務の改善のため、どういう施策を考えてい
 るのか」との記者の一連の質問に対して、「給与、ボーナスの削減も改
 善策の一つとしての検討項目である」と答えた内容が記事として報道さ
 れた模様です。

中央本部は、11月12日に発表された日本郵政グループの中間決算
 で、グループ連結1,651億円の中間純利益を確保しつつも、各社毎の経
 営状況は、縮小化の進展により脆弱な経営基盤となり、特に郵便事業は、
 JP EXの赤字の残存や郵便物の年間3%台の減少傾向に歯止めがかか
 らないなど、構造的な赤字体質となっており、通期見通しでは営業損益
 ▲1,050億円が見込まれるなど、かつてない厳しい経営状況となってい
 ることから、郵便事業の収支改善に向けた取り組みが喫緊の課題である
 と認識します。

裏面へ

しかし、郵便事業の収支改善に向けては、第一に、なぜこのような赤字を生じたのか中間決算と事業計画との乖離の要因分析を行うこと、第二に、ゆうパック及び郵便営業戦略を早期に策定し収益改善策を明らかにすること、第三に、人的依存度が高い事業体質を踏まえた活力向上策（人材への投資）を明らかにすること、第四に、郵便事業として必要な支出削減策及び郵政グループとして郵便事業収益改善に関する協力体制を講じること、が必要と考えます。

このことから、今回の齋藤社長記者会見に基づくマスコミ報道内容については、あくまでも支出改善策の検討項目であり、そのことだけをもって郵便事業財政の健全化には繋がらないと考えます。

よって、今後中央本部は、郵便事業財政の健全化に向けた収支改善について、総務省から1月28日（金）までに報告を求められていることを踏まえ、第一から第四の全体パッケージを早期に明らかにさせる取り組みを行い、その上で検証し、必要な労使対応及び組織対応を図っていくこととします。

以上

新聞報道では、郵便事業会社の社員は年収が高くて（平均 650 万円）楽をしている。公務員体質が抜けない、ぬるま湯だ！とのこと…。夜勤や深夜勤ばかりの職場のどこがぬるま湯なのか全くわからない。報道の仕方がかたよっていると思えない。会社情報の情報提供者とマスコミによるテバッシングだ。

宅配統合の「責任問題」を吹っ飛ばして「高い賃金制度」に問題があるかのように映し出しているように思えてならない。（>_<）

日本郵政グループ労働組合同規約第43条、第44条および第46条により、第7回中央委員会を下記のとおり招集する。

1. 日 時 2011年2月17日（木）10：00
 ~18日（金）16：00
2. 場 所 池袋 ホテルメトロポリタン 3階「富士」
 〒171-8505 豊島区西池袋1丁目6番1号
3. 議 案 （1）第1号議案 2011春季生活闘争をはじめとする当面の取り組み（案）

（2）その他

2011年1月14日

日本郵政グループ労働組合 中央執行委員長 竹 内 法 心

第3回支部長・ 第4回書記長会議 開催報告

～30000人組織達成の 成果と自信に立って～

日刊
JP
新東京

No.561

2011年
1月19日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

1月13日、9時半より品川区にあるホテルラフォーレ東京において第3回支部長・第4回書記長会議が開催された。

開会のあいさつのもと、佐藤和美地本委員長より提起がありました。①2011年の重要課題：とりわけ12月31日付けの「東京新聞」報道、1月7日の斎藤社長会見に対するJP労組の機関会議での考えと流れについて説明がありました。特徴としては、事業会社の経営状況と再生への考えかたが主であった。②郵政改革関連法案の通常

国会での成立をめざす。③組織基盤の拡大、昨年12月に東京3万人組織が達成した。その中でも新東京支部が138名の拡大への御礼があった。地本としては引き続きの組織拡大と42000名組織を追求する、と提起があった。④改革関連法案の早期成立と政治基盤確立として「みらい研」の会員拡大、⑤統一地方選挙のJP労組組織内候補である中里(江戸川)、新島(江東)、末木(新宿)の必勝を目指す：などの提起を受けた。

また、書記長会議の報告、共済移行後の取り組み、年末年始繁忙の振り返り、組織拡大の総括と後期取り組み方針、その他様々な提起があり質疑討論を行い認識の統一がはかられました。

第7回中央委員会 告示

日本郵政グループ労働組合格約第43条、第44条および第46条により、第7回中央委員会を下記のとおり招集する。

1. 日 時 2011年2月17日（木）10:00
 ~18日（金）16:00
2. 場 所 池袋 ホテルメトロポリタン 3階「富士」
 〒171-8505 豊島区西池袋1丁目6番1号
3. 議 案 (1) 第1号議案 2011春季生活闘争をはじめ
 とする当面の取り組み（案）
 (2) その他

2011年1月14日

日本郵政グループ労働組合 中央執行委員長 竹内法心

「郵政未来研究会（みらい研）」の 会 員 募 集 中

働くものの公正・公平そして安心・安全に働き暮らしていくことのできる社会と郵政事業を守り発展していく政策の実現を目指しJP労組の政治活動を推進していくことを目的に郵政未来研究会を設立しました。

郵政事業・税制・環境・教育・社会保障・平和…私達の暮らしと未来は政治と密接に関係しています。

火災共済・自然災害共済に 加入しよう!!

割安な掛金で、大切な住宅や家財を幅広く保証する共済です!!

火災による損害のほか、落雷や他人の居室からの水漏れなどによる損害にも対応。台風や洪水などの風水害に対しても共済金が支払われます。自然災害共済は保証範囲がさらにワイドに!! 地震、津波、噴火、盗難事故による損害に幅広く備えることができます。

詳しくは組合役員まで…

日 刊 JP 新東京	№ 5 6 2	2011年1月20日(木)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

書留郵便物等の支店内授受の I Tの試行について

1月14日発行の日刊紙で既にお伝えしておりましたが、東京支社より詳細な内容が提供されましたので改めて周知致します。

1. 目的

現在、各支店において書留授受簿を使用し、郵便課特殊係と集配営業課間の書留郵便の授受を実施していますが、オペレーションコストの削減及び品質向上を図るため支店内における授受のI T化を試行し、携帯端末（ドリーム端末、外務用携帯端末）の操作性等の検証を行う。

2. 試行実施支店

東京管内：本郷支店のみ

※その他：南関東管内8支店

(川崎港・川崎・高津・登戸・宮前・中原・麻生)

3. 試行実施期間

平成23年1月24日(月)準備出来次第～同年9月30日(金)

4. 支店代表研修

期 間：平成23年1月29日(水) 13:00～17:00

場 所：中央郵政研修所

対象者：支店郵便課・集配営業課の役職者から各1人

5. 試行内容等

- ①書留郵便の授受を携帯端末機で記録し、授受簿による作業を省力化する
- ②試行範囲は、郵便課特殊係の到着処理から集配営業課への交付及び交付後の配達担当者間の各区移動までとする。

6. 対象郵便

- ①書留とする郵便物及びゆうメール
- ②簡易書留とする郵便物及びゆうメール
- ③書留とする国際通常郵便
- ④保険付き国際通常郵便

注：料金収納を要するものは除く

7. 組合側からの意見・提言

東京地本は、試行実施を行う本郷支店に対し支店内訓練の事前実施及び使用する携帯端末（ドリーム端末・外務用携帯端末）等の不足がないこと。

試行内容が、郵便課の到着処理～集配交付（各区移動の入力）までであり、授受簿による作業を省力化としているが、料金収納を要する郵便にたいしての交付票入力が無いため、料金関係の授受簿が必要になってしまうこと。各区ごとの交付時に交付票の数と実数相違の場合、特殊係にて再度交付票を作成し直す問題が生じる等、改善を要する機能が必要であることから、支社に対し、本郷支店での試行期間における丁寧な対応を求めました。

また、平成23年10月以降に現在使用している内務用携帯端末機を更改し、ドリーム端末による運用を開始予定であることから、全国実施までの間に書留に係わる必要な機能となるよう支社に対し強く求めました。

以上

日 刊 新東京	No. 563	2011年1月21日(金)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

1月18日朝日新聞 「日本郵便、年功改め成果主義へ 年500億円削減見込む」報道について

1月18日、朝日新聞に上記の見出しの記事が掲載されました。記事には、「給与体系を年功序列から成果主義に改める意向を組合に伝えた、早ければ新年度から導入。導入で年間500億円程度のコスト削減を見込む」等の内容になっています。

今回の記事に記載されている「組合に伝えた」「年間500億円の削減」とありますが、この記事は、JP労組または、日本郵便事業会社への取材は全くないなかで書かれた記事です。よって、JP労組に対して会社より説明（提示）がなされた事実はなく、年間500億円削減の根拠も不明であり推測記事であることは明白です。

例えば、1月8日の「給与削減」などの報道もそうですが、この記事に記載されている「給与体系（制度）の見直し」は、まさに労働条件の最たる項目であり見直しを行う場合は、職場の意見集約に基づく労使交渉の積み重ねを行い、全国大会論議を経て協約改正を行うなど一定の期間と機関手続きを要する事項であり、新年度からの導入などあり得ない話です。

本部は、郵便事業の収支改善策は喫緊の課題と位置づけ、郵便事業会社、日本郵政と協議を進めています。協議を進めるうえで、第一に、何故このような赤字が生じたのか中間決算と事業計画との乖離の要因分析を行うこと、第二に、ゆうパックおよび郵便営業戦略を早期に策定し収益改善策を明らかにすること、第三に、人的依存度が高い事業体質を踏まえた活力向上策（人材への投資）を明らかにすること、第四に、郵便事業として必要な支出削減策および郵政グループとして郵便事業収益改善に関する協力体制を講じること、等の全体パッケージを示すことを求め、精力的に協議を行っています。

また、今日までの協議においても、人件費削減に関するマスコミ報道により、社員は不安感を抱き動揺したまま業務遂行を余儀なくされ、モチベーションは低下し、本社不信に繋がっていることから、経営陣の発言には十分な注意を払うとともに、「経営がやるべきは、郵便の収益改善策を第一に検討し、本気になって早急に全体パッケージを示すことである」と本社の姿勢に関して厳しく求めています。本部は、今後も引き続き協議を進め、早急に全体像を明らかにし、必要な労使対応、組織対応をはかることとします。

□□□□…カレンダー第三弾！！□□□□

すでに一月もなかばを過ぎましたが、2011カレンダーの最終入荷がありました。手帳もあります。支部事務室においてありますのでお早めに…。

golfer 保険・個人賠償責任保険 のご案内

golfer 保険とは、ホールインワンまたはアルバトロスを達成したお祝いとして実際にかかった費用を支払う保険です。プレー中のケガやクラブなどの盗難・破損についても補償するものです。

個人賠償責任保険とは、日常のちょっとした不注意で他人をケガさせたり、他人のものをこわしてしまったりして、賠償請求をうけたとき、補償する保険です。自転車で通行人にケガをさせてしまったりしたときなどに保険金が支払われます。 加入申し込みは春のみ…

プルタブ回収運動で 車椅子を福祉施設に送ろう！！

新東京支部から始まったプルタブ回収運動！！

休息室で飲んだ缶コーヒーや缶ジュースについているプルタブ…捨てればただのゴミですが回収すれば、立派な車いすに変身します。

一つ一つではちいさなプルタブ…みんなが集めれば大きな運動になっていきます。 詳しくは組合役員まで…

日 刊 JP 新東京	No.567	2011年1月24日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

二特分會

「正社員になってみて…」

12月1日付け正社員登用者の感想

12月1日から正社員登用となり、年末の業務輻輳や入学願書繁忙など心身ともに大変であったであろう新人に正社員登用になってどう感じているのか感想を聞いてみました。

Sさん

○正社員に登用されて、一ヶ月半が過ぎました。

ゆうメイトの時より仕事が細かくなったので、今は仕事を覚えるのに大変ですが、一日も早く覚えたいと思います。

あと、今までずっと夜中しか働いてなかったので、早く昼間の勤務に慣れるよう体調に気をつけたいと思います。

Tさん

○正社員になり、早一ヶ月半。まだ周りの社員の方々には迷惑をかけてる毎日ですが、私自身は覚える事が多くあり、楽しんで仕事をしております。

もともと、契約社員の仕事では物足らず正社員を望んだ訳ですから当然といえば当然ですが、ただ…年とともに物覚えが悪くなり…。

ただし！ただ1点、周りの社員の方々には解りやすく説明して頂き、質問にも丁寧に答えて頂き、感謝とともに心強く私自身非常に助かっております。まだまだ、毎日が勉強ですが頑張ります！ 仕事は、楽しい♪

Tさん

○正社員となっちはや1ヶ月半が過ぎました。

環境には慣れたとは思いますが、仕事面ではまだまだいたらない部分も多く、諸先輩方のご指導を仰ぎつつ勉強の日々です。

社員ともなると当然責任も重くなりますが、その点については良い緊張

感になっていると思います。

今後も気を緩める事なく精進していきたいと思います。

悩み事は・・・。

漠然とした不安感みたいなものはありますが、今は仕事を覚えるのに精一杯で悩んでる暇はありませんね。

先輩方に恵まれているので、その都度話を聞いてもらえますし、これといった悩みは特にはないです。

Iさん

○正社員になって一番に感じるのは責任の重さです。ゆうメイトの時よりひとつひとつの仕事の求められる正確性が格段に上がって、より慎重に作業しなければならないと心がけております。

生活面でも変化がありました。毎日の様になる出勤時間に合わせて就寝時間を変えなければならず、寝つけない日々もありました…。

苦労も色々ありますが、それにも増して経済的な安定（住居費などの各種手当）が得られたことが何より嬉しく正社員になって本当に良かったと思います。

Kさん

○職員になって一ヶ月半、今まで一定の時間での出勤から日々変わることによって、健康管理に悪戦する毎日。仕事に関しても「一生懸命やらなきゃ」と思う使命感から、周りが見えずミスしたり抜けていたりでいろいろやらかしていますが、先輩方皆様には親切に教えて頂いて本当に助かっています。これからも宜しくお願い致します。

golfer 保険・個人賠償責任保険 のご案内

golfer 保険とは、ホールインワンまたはアルバトロスを達成したお祝いとして実際にかかった費用を支払う保険です。プレー中のケガやクラブなどの盗難・破損についても補償するものです。

個人賠償責任保険とは、日常のちょっとした不注意で他人をケガさせたり、他人のものをこわしてしまったりして、賠償請求を受けたとき、補償する保険です。自転車で通行人にケガをさせてしまったりしたときなどに保険金が支払われます。 加入申し込みは春のみ…

年末繁忙を 振り返って

日 刊

新東京

No. 5 6 8

2011年
1月28日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

『混乱もなく過ぎた』
といわれている年末
繁忙。

しかし、現場では
様々な問題点があっ
たので以下要点を報
告します。

【本棟関係】

(イ)地方の増便時間
設定が早すぎた。
19時発の増便は殆
ど満載にならないで
差し立てた。
もう少し後の時間帯
に設定するべき(2

0時以降)
その反面、15分、20分おきに
増便が設定されていた。

伝送便については23時台の増
便が無くてフロアが手狭になった。
もっと現場の意見を聞いて便設
定をするべきだ。

(ロ)輸送容器不足 ロールパレッ
ト、チルドコンテナ等々。

チルドコンテナの代わりに、チ
ルドボックスを使用したり、冷凍
用のボックスを使用していた

【新棟関係】

(イ)本務者の人数が不足
休憩、休息もまともに取れない

事が多かった。

(ロ)長期契約社員も不足

結束関係の立会は短期では無理
なので、長期が必要。

(ハ)休息室が粗末

たまたま暖かい日が多かったが、
暖房はストーブを置くべきであっ
た。

※本務者、契約社員を含め、風
邪をひいて休む人が多かった。

作業場の一角では休んだ気がし
ない。

以前のように単独の建物を設置
して欲しい。

(ニ)開設当初、地方も処理したが、
後半のように関東だけの処理でよ
い。

(ホ)命綱であるシャトル便が機能
しなかった

昼間一便は特に問題。
常に2便運行するように設定す

るべきだ。

深夜帯の47車も如何なものか。

※片方が休憩になると1便だけの運行となる。

空Pを本局に送付したくてもシヤトル便が無いため臨時対応した。

結末対象の実Pも送付困難な状況で臨時便対応した。

(ハ)中央ターミナル空パレット

回送便について

予定では1日25便525パレット送付であったが、実際は23便運行のみ。1便も必要のない日もかなりあった。経費的に如何なものか。

(ト)後半は関東のみの処理になり殆ど他部応援になった。

昼間帯は『パレット主管』の仕事をしていた感がある。

(チ)伝増上3号便は、各支店の地方遅れが多かった。

(リ)小菅ハブの失敗の原因はどこにあるのか。

※支社は自信ありげだったようだが、しわ寄せはゆうバックにきた。

【その他】

☆運送便のデータが出来るのが遅い。最終形でデータが必要。

☆シヤトル担当を第1ゆうバックで行ったが、結末、本局からの関

東継続し差立てを考えると、第2ゆうバックで行うべきであった。

☆新棟プロジェクトはもっと早期に立ち上げるべきだ

☆来期は便設定、レイアウト、要員、厚生施設等々、現場からの意見を中心に立ち上げるべきだ。

(現場の声から)

【赤字の責任は誰に?】

昨年の暮れから始まった一連

のマスコミ報道。赤字を理由に「契約社員のリストラ」「正規社員も賃下げ」「人事交流」等々。そして斉藤社長の記者会見。

何度も日刊や機関会議で「7月のゆうバック統合は問題がある。夏期繁忙の最中にやれば混乱は必至。お客がゆうバックから離れていく」と発言したことが現実の事になった。

現場では『経営責任を誰もとっていない。まして、社員に尻ぬぐいをさせることは納得できない』と不満の声が渦巻いている。今日、総務省に報告することになったが、社員、契約社員に赤字の責任を押しつけることに絶対反対する。

本部にも毅然とした対応をするよう望む。

(第一ゆうバック分会投稿)

日 刊
JP
新東京

No. 569

2011年
1月31日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

第5回執行委員会

第2回拡大執行委員会報告

1月22日(土)に第5回執行委員会兼第2回拡大執行委員会が開催された。支部書記長は東京地本主催のゆうパック関係の会議に出席の為組織部長が会の進行を行った。



今会議は、主として2月17日・18日で開催される第7回中央委員会へ向けての意見集約の場であり、また今年末始繁忙期の評価反省、30000名組織達成以降の今後の組織拡大行動の展開方針について話し合うこととなった。更に、この間さまざまなマスコミの報道で郵便事業会社が取り巻く状況等が取り上げられているため、今までの経過と今後の対応について説明があった。

冒頭支部長より挨拶がなされ引き続き1月13日に開催された支部長書記長会議の内容(裏面要旨)の報告がなされた。

その後、組織部長より組織拡大会議へ出席した際の会議内容の説明があった。一度休憩をはさみ現在の会社の考え方、中央委員会に向けての意見の取りまとめ、年末始繁忙を終えての各分会からの発言などが行われた。その後、各専門部から連絡事項の報告があり、最後に今後のスケジュールの確認がなされ閉会した。

支部長書記長会議報告

1、年末年始繁忙期の評価・反省。失敗は許されない今年末繁忙を万全の体制を作ろうと全組合員意識統一し取り組みを行った結果、多くの問題点なく順調に推移したことへのお礼。

2、東京全体で念願の3万人組織達成を果たしたことへのお礼。特に新東京支店では期間中138名の拡大と東京全体の牽引役を果たしてくれたことに対して評価。

3、事業会社のマスコミ報道の経緯と今後の対応

【経緯】中間決算の報告がなされ、事業計画と中間決算の乖離について指摘(半期約594億のマイナス)。その後会社側の会議でフリートークで話し合った内容やフリーの質疑で答えた内容がマスコミで報道された。

【今後のJP労組のスタンス】

- ・中間決算と事業計画の乖離についても分析が必要不可欠
 - ・ゆうパックの営業戦略と今後の改善策を明らかにすべき
 - ・人的依存度の高い事業体質を踏まえ人材への投資が必要
- の3点を基本とし今後の交渉を進めていく。
(協約締結には組合との交渉必要不可欠)

4、郵政改革関連法案の早期成立に向けた対応

政治基盤確立のため未来研加入促進と統一地方選の組織内候補の必勝に向けて取り組み強化。

書そんはがきを集めています！！

東京地本ユースネットワーク主催で社会貢献活動の一環として書そんした年賀はがきを集めています。集められた葉書きは車いす等に形を変えて施設へ寄付されます。皆さんの1枚が大きな力となります。ご協力お願いします。